大相撲五月場所

國技館

ゴールド――それは、いつの時代でも世界中で通用する永遠の価値を持ち続けて来ました。経済情勢がめまぐるしく変化する現代においても、資産としての金の持つ価値はますます高まっています。
そこで、注目されているのが、金を中心とした「貴金属先物取引」です。この取引は、小さな資金で大きな取引ができる資金効率の良さが特長。先進国の金融政策の足並みが乱れ金融環境が不安定化している中で、より効率の良い資産運用を実現します。いま時代はゴールド。それは、豊かさへの確かな戦略です。

通産省・農水省許可商品取引員
豊商事株式会社
本社／〒103 東京都中央区日本橋蛎殻町1-16-12 TEL 03(3667)5211(大代)

※豊商事では貴金属の先物取引に関する資料を各種取り揃えております。お気軽に上記住所宛にお申し込みください。

CS-0753

五月場所展望

東正横綱の北勝海。春場所に続いて夏場所も優勝、と気合いは十分だ。

夏場所こそV奪取！と燃えるのは大乃国。巨体を利しての攻撃相撲が魅力だ。

横綱に昇進して5場所目の旭富士。〝横綱初優勝〟へ名乗りを上げている。

力士生命を賭ける千代の富士。再起の土俵で優勝すれば、大鵬と並ぶ史上最多の32回優勝だ。

小錦はパワフルな、霧島は切れ味鋭い取り口を見せてくれるはずだ。スピードのある関脇琴錦、連続勝越し記録を更新中の新関脇曙。『関脇の強い場所はおもしろい』と言われる。二人の暴れん坊ぶりが注目される。

ファイトある相撲でいっときも目を離せない小結の寺尾と貴闘力。進境著しい貴花田の連日の横綱、大関挑戦も楽しみだ。新鋭、古豪入り乱れての前頭上位陣。波乱含みの毎日の土俵である。

皆負けぬ　顔や力士の　土俵入り

ごあいさつ

新緑みずみずしく、風さわやかな初夏となりました。

平素は皆様から、絶大なご支援ご厚情をいただきまして、まことにありがたく心から御礼申し上げます。

今場所は横綱大関以下、進境いちじるしい新進力士と、古豪の各力士が、稽古に精進してきた成果を余すところなく発揮し、皆様のご期待にお応えできることと存じます。

今後はさらに土俵内容の充実と相撲道発展のため努力する決意でございます。

なにとぞ一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

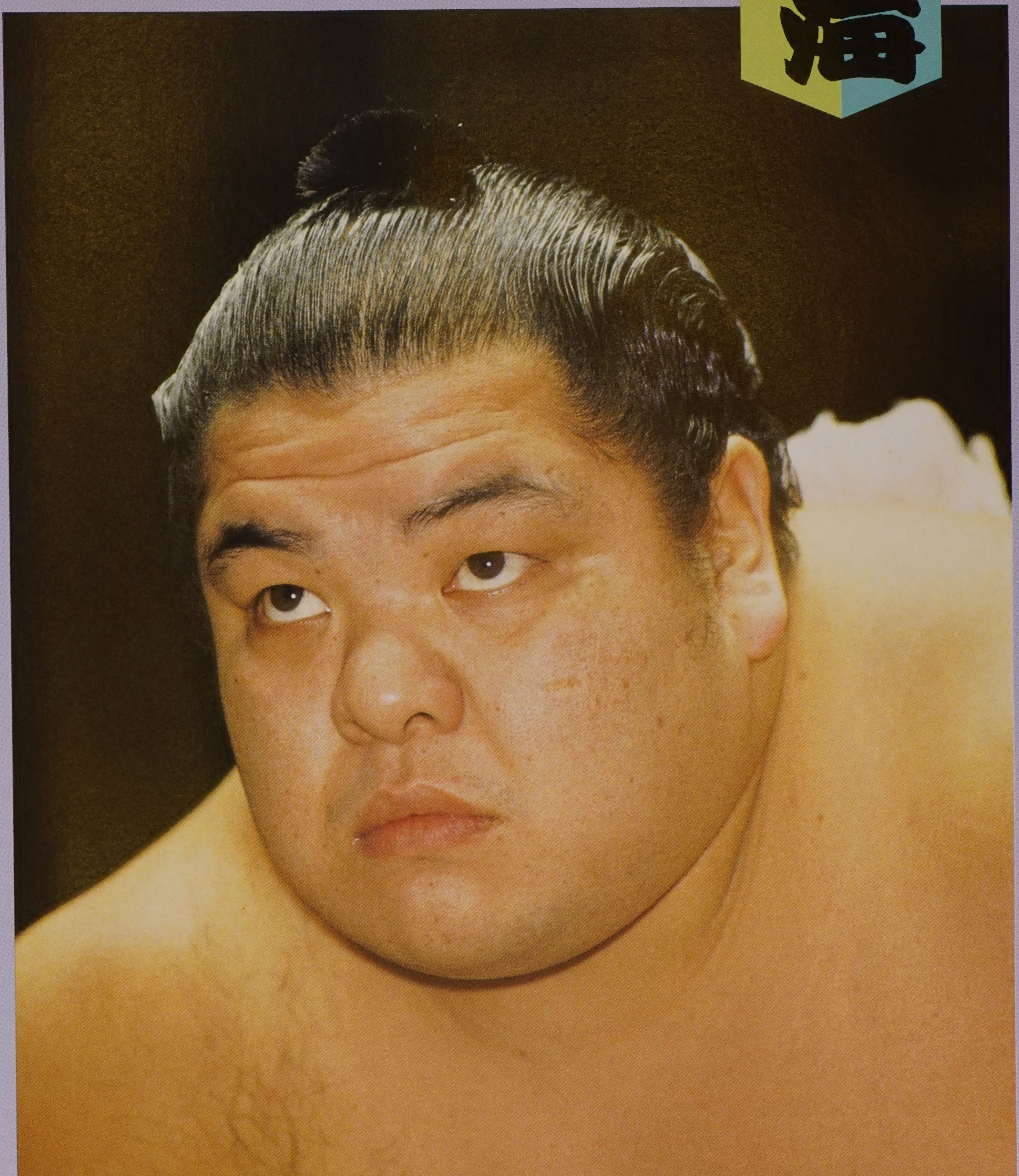
平成三年三月

財団法人　日本相撲協会

理事長　**二子山　勝治**

綱
ZUNA

北勝海
HOKUTOUMI



北勝海信芳(ほくとうみのぶよし)【九重部屋】北海道広尾郡広尾町
本名・保志信芳　27歳　身長180㎝　体重147㎏　左四つ・押し・寄り　578勝273敗
初土俵／54年3月　新入幕／58年9月
優勝／8回　殊勲賞／3回　敢闘賞／3回　技能賞／5回
場所数／74　金星／1

ONOKUNI

大乃国

横

YOKO

大乃国　康（おおのくにやすし）【放駒部屋】 北海道河西郡芽室町
本名・青木　康　28歳　身長189㎝　体重186㎏　右四つ・寄り・吊り　556勝314敗
初土俵／53年3月　新入幕／58年3月
優勝／2回　殊勲賞／5回　敢闘賞／2回
場所数／80　金星／4

綱
ZUNA

旭富士
ASAHIFUJI

旭富士正也(あさひふじせいや)【大島部屋】青森県西津軽郡木造町
本名・杉野森正也　30歳　身長187㎝　体重145㎏　右四つ・寄り　551勝308敗
初土俵／56年1月　新入幕／58年3月
優勝／3回　殊勲賞／2回　敢闘賞／2回　技能賞／5回
場所数／63　金星／2

千代の富士

CHIYONOFUJI

横

YOKO

千代の富士貢(ちよのふじみつぐ)【九重部屋】北海道松前郡福島町

本名・秋元貢　35歳　身長182㎝　体重125㎏　右四つ・上手投　1044勝434敗

初土俵／45年9月　新入幕／50年9月

優勝／31回　殊勲賞／1回　敢闘賞／1回　技能賞／5回

場所数／125　金星／3

大関
O ZEKI

小錦
KONISHIKI

小錦八十吉（こにしきやそきち）【高砂部屋】米国ハワイ、オアフ島
本名・サレバ・アティサノエ 二七歳 身長一八七㎝ 体重二三九kg
突き・押し 四三八勝二三八敗
初土俵／五七年七月 新入幕／五九年七月
優勝／一回 殊勲賞／四回 敢闘賞／五回 技能賞／一回
場所数／五四 金星／二

霧島
KIRISHIMA

霧島一博（きりしまかずひろ）【井筒部屋】鹿児島県姶良郡牧園町
本名・吉永一美 三二歳 身長一八五㎝ 体重一三一kg
左四つ・寄り 五五〇勝四八三敗
初土俵／五〇年三月 新入幕／五九年七月
優勝／一回 殊勲賞／三回 敢闘賞／一回 技能賞／四回
場所数／九八 金星／二

関脇
SEKI WAKE

琴錦
KOTONISHIKI

琴錦功宗（ことにしきかつひろ）【佐渡ヶ嶽部屋】群馬県群馬郡箕郷町
本名・松澤英行　二三歳　身長一七六㎝　体重一三三kg
突き押し　一四八勝一八二敗
初土俵／五九年三月　新入幕／元年五月
殊勲賞／三回　敢闘賞／一回　技能賞／二回
場所数／四四　金星／二

曙
AKEBONO

曙　太郎（あけぼのたろう）【東関部屋】米国ハワイ・オアフ島
本名・チャド・ローウェン　二三歳　身長二〇四㎝　体重一九三kg
突き・押し　一二三勝六〇敗
初土俵／六三年三月　新入幕／二年九月
殊勲賞／二回　敢闘賞／一回
場所数／二〇　金星／一

小結
KO MUSUBI

寺尾
TERAO

寺尾常史（てらおつねふみ）【井筒部屋】鹿児島県始良郡加治木町
本名・福薗好文 二八歳 身長一八四㎝ 体重一一〇kg
突張り 四二七勝三九四敗
初土俵／五四年七月 新入幕／六〇年三月
殊勲賞／一回 敢闘賞／二回 技能賞／一回
場所数／七二 金星／四

貴闘力
TAKATORIKI

貴闘力忠茂（たかとうりきただしげ）【藤島部屋】兵庫県神戸市
本名・鎌苅忠茂 二三歳 身長一八〇㎝ 体重一三六kg
突き・押し 二四六勝一七八敗
初土俵／五八年三月 新入幕／二年九月
殊勲賞／一回 敢闘賞／一回 場所数／五〇 金星／二

東前頭 1　安芸ノ島勝巳(あきのしまかつみ)

本名・山中勝巳　24 歳【藤島部屋】広島県豊田郡安芸津町
身長 175 cm　体重 137 kg　左四つ・寄り　312 勝 250 敗
初土俵／57 年 3 月　新入幕／63 年 3 月
殊勲賞／4 回　敢闘賞／3 回　技能賞／1 回
場所数／56　金星／12

安芸ノ島 AKINOSHIMA

貴花田 TAKAHANADA

西前頭 1　貴花田光司(たかはなだこうじ)

本名・花田光司　18 歳【藤島部屋】東京都中野区
身長 186 cm　体重 129 kg　右四つ・寄り　123 勝 75 敗
初土俵／63 年 3 月　新入幕／2 年 5 月
敢闘賞／1 回　技能賞／1 回
場所数／20

東前頭 3　琴ケ梅剛史(ことがうめつよし)

本名・北山　聡　27 歳【佐渡ヶ嶽部屋】富山県婦負郡八尾町
身長 180 cm　体重 176 kg　右四つ・寄り・突き　443 勝 385 敗
初土俵／54 年 3 月　新入幕／60 年 3 月
殊勲賞／1 回　敢闘賞／4 回　技能賞／2 回
場所数／74　金星／2

琴ケ梅 KOTOGAUME

東前頭 2　栃乃和歌清隆(とちのわかきよたか)

本名・綛田清隆　29 歳【春日野部屋】和歌山県海草郡下津町
身長 190 cm　体重 154 kg　右四つ・寄り・押し　258 勝 210 敗
初土俵／60 年 3 月　新入幕／62 年 1 月
殊勲賞／1 回　敢闘賞／2 回
場所数／38　金星／2

栃乃和歌 TOCHINOWAKA

陣岳 JINGAKU

西前頭 3　陣岳　隆(じんがくたかし)

本名・中山　隆　31 歳【井筒部屋】鹿児島県曽於郡志布志町
身長 190 cm　体重 148 kg　突き・押し　497 勝 512 敗
初土俵／52 年 5 月　新入幕／58 年 1 月
場所数／85　金星／2

三杉里 MISUGISATO

西前頭 2　三杉里公似(みすぎさとこうじ)

本名・岡本公似　28 歳【二子山部屋】滋賀県甲賀郡信楽町
身長 185 cm　体重 151 kg　右四つ・上手投げ　398 勝 354 敗
初土俵／54 年 1 月　新入幕／63 年 5 月
場所数／75　金星／2

東 前 頭 5　隆三杉太一(たかみすぎたかかつ)

本名・金尾　隆　30 歳【二子山部屋】神奈川県川崎市
身長 179 cm　体重 146 kg　押し　539 勝 525 敗
初土俵／51 年 3 月　新入幕／56 年 7 月
場所数／92　金星／1

東 前 頭 4　大翔山直樹(だいしょうやまなおき)

本名・山崎直樹　24 歳【立浪部屋】石川県鳳至郡穴水町
身長 183 cm　体重 177 kg　右四つ・寄り　91 勝 53 敗
初土俵／元年 1 月　新入幕／2 年 9 月
場所数／15　金星／1

西 前 頭 5　逆鉾伸重(さかほこのぶしげ)

本名・福薗好昭　29 歳【井筒部屋】鹿児島県姶良郡加治木町
身長 180 cm　体重 122 kg　両差し・寄り　506 勝 492 敗
初土俵／53 年 1 月　新入幕／57 年 11 月
殊勲賞／5 回　技能賞／4 回
場所数／81　金星／7

西 前 頭 4　板井圭介(いたいけいすけ)

本名・板井圭介　35 歳【大鳴戸部屋】大分県臼杵市
身長 176 cm　体重 139 kg　突き・押し　491 勝 487 敗
初土俵／53 年 9 月　新入幕／55 年 9 月
殊勲賞／1 回　技能賞／1 回
場所数／77　金星／3

東前頭 7　若花田勝(わかはなだまさる)

本名・花田 勝　20歳【藤島部屋】東京都中野区
身長178cm　体重116kg　左四つ・寄り　116勝66敗
初土俵／63年3月　新入幕／2年9月
場所数／20

西前頭 7　琴富士孝也(ことふじたかや)

本名・小林孝也　26歳【佐渡ヶ嶽部屋】千葉県千葉市
身長190cm　体重150kg　左四つ・寄り　353勝317敗
初土俵／55年3月　新入幕／63年9月
敢闘賞／1回
場所数／68　金星／1

東前頭 6　久島海啓太(くしまうみけいた)

本名・久嶋啓太　25歳【出羽海部屋】和歌山県新宮市
身長187cm　体重185kg　右四つ・寄り　136勝106敗
初土俵／63年1月　新入幕／元年7月
敢闘賞／1回
場所数／21

西前頭 6　小城ノ花昭和(おぎのはなあきかず)

本名・小岩井昭和　23歳【出羽海部屋】千葉県市川市
身長188cm　体重144kg　左四つ・寄り　230勝165敗
初土俵／58年7月　新入幕／2年1月
場所数／48

東前頭 9　起利錦利郎(きりにしきとしろう)

本名・山田利郎　28 歳【鏡山部屋】群馬県桐生市
身長 186 cm　体重 171 kg　右四つ・寄り　391 勝 367 敗
初土俵／53 年 3 月　新入幕／61 年 7 月
場所数／80　金星／2

東前頭 8　豊ノ海真二(とよのうみしんじ)

本名・濱田真二　25 歳【藤島部屋】福岡県豊前市
身長 190 cm　体重 187 kg　左四つ・寄り　315 勝 281 敗
初土俵／56 年 3 月　新入幕／63 年 11 月
場所数／62

西前頭 9　琴椿克之(ことつばきかつゆき)

本名・渡嘉敷克之　30 歳【佐渡ヶ嶽部屋】沖縄県那覇市
身長 188 cm　体重 144 kg　右四つ・寄り　377 勝 318 敗
初土俵／51 年 3 月　新入幕／3 年 1 月
場所数／92

西前頭 8　若瀬川剛充(わかせがわよしみつ)

本名・佐藤　亙　28 歳【伊勢ヶ浜部屋】山形県酒田市
身長 187 cm　体重 150 kg　右四つ・寄り　500 勝 446 敗
初土俵／53 年 3 月　新入幕／58 年 1 月
場所数／80　金星／1

東前頭11　琴の若實哉（ことのわかみつや）

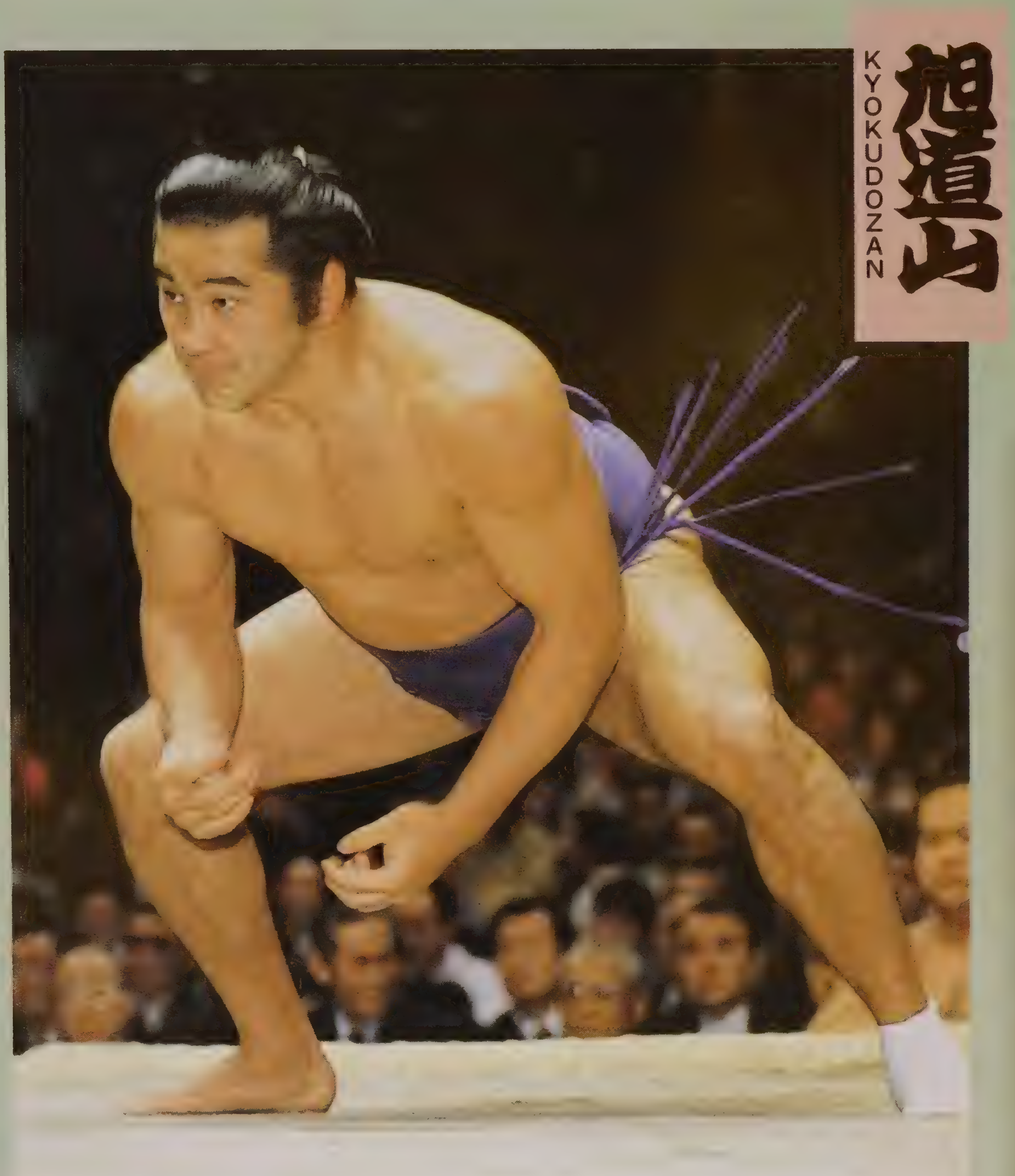
本名・今野満也　22歳【佐渡ヶ嶽部屋】山形県尾花沢市
身長191㎝　体重151kg　突き・押し　193勝121敗
初土俵／59年5月　新入幕／2年11月
場所数／43

東前頭10　花ノ国明宏（はなのくにあきひろ）

本名・野口明宏　31歳【放駒部屋】大阪府藤井寺市
身長184㎝　体重144kg　右四つ・寄り・上手投げ　482勝452敗
初土俵／50年3月　新入幕／63年3月
敢闘賞／1回
場所数／98　金星／1

西前頭11　春日富士晃大（かすがふじあきひろ）

本名・岩永祥紀　25歳【安治川部屋】神奈川県川崎市
身長180㎝　体重137kg　突き・押し　296勝284敗
初土俵／56年3月　新入幕／元年3月
敢闘賞／1回
場所数／62



西前頭10　旭道山和泰（きょくどうざんかずやす）

本名・波田和泰　26歳【大島部屋】鹿児島県大島郡徳之島町
身長181㎝　体重100kg　左四つ・上手投げ　311勝283敗
初土俵／55年5月　新入幕／元年1月
敢闘賞／1回
場所数／67

東前頭13　北勝闘準人(きたかちどきはやと)

本名・久我準人　25歳【伊勢ノ海部屋】北海道帯広市
身長182㎝　体重135㎏　右四つ・寄り　333勝284敗
初土俵／56年5月　新入幕／平成元年1月
場所数／61

東前頭12　巨砲丈士(おおづつたけし)

本名・松本隆年　35歳【大鵬部屋】三重県四日市市
身長182㎝　体重140㎏　右四つ・寄り・上手投げ　710勝747敗
初土俵／46年5月　新入幕／54年3月
殊勲賞／2回　敢闘賞／1回　技能賞／1回
場所数／121　金星／10

西前頭13　巴富士俊英(ともえふじとしひで)

本名・黒澤俊英　20歳【九重部屋】秋田県鹿角市
身長191㎝　体重145㎏　左四つ・寄り　143勝86敗
初土俵／61年5月　新入幕／3年1月
敢闘賞／1回
場所数／31

西前頭12　水戸泉政人(みといずみまさと)

本名・小泉政人　28歳【高砂部屋】茨城県水戸市
身長192㎝　体重179㎏　左四つ・寄り・吊り　428勝328敗
初土俵／53年3月　新入幕／59年9月
殊勲賞／1回　敢闘賞／5回
場所数／80

東 前 頭 15　孝乃富士忠雄(たかのふじただお)

本名・安田忠夫　27 歳【九重部屋】東京都大田区
身長 191 cm　体重 142 kg　左四つ・寄り　374 勝 398 敗
初土俵／54 年 3 月　新入幕／61 年 5 月
敢闘賞／1 回
場所数／74　金星／2

東 前 頭 14　恵那櫻徹(えなざくらとおる)

本名・早川　徹　30 歳【押尾川部屋】岐阜県恵那郡坂下町
身長 180 cm　体重 135 kg　突き・押し　424 勝 412 敗
初土俵／52 年 3 月　新入幕／62 年 11 月
敢闘賞／1 回
場所数／86

西 前 頭 15　両国梶之助(りょうごくかじのすけ)

本名・小林秀昭　28 歳【出羽海部屋】長崎県長崎市
身長 183 cm　体重 173 kg　右四つ・寄り　254 勝 238 敗
初土俵／60 年 3 月　新入幕／62 年 3 月
殊勲賞／1 回　敢闘賞／1 回
場所数／38　金星／3

西 前 頭 14　太寿山忠明(だいじゅやまただあき)

本名・坂爪忠明　32 歳【二子山部屋】新潟県新津市
身長 182 cm　体重 159 kg　右四つ・寄り　582 勝 606 敗
初土俵／50 年 3 月　新入幕／55 年 9 月
殊勲賞／1 回　敢闘賞／3 回
場所数／98　金星／7

東十両 1

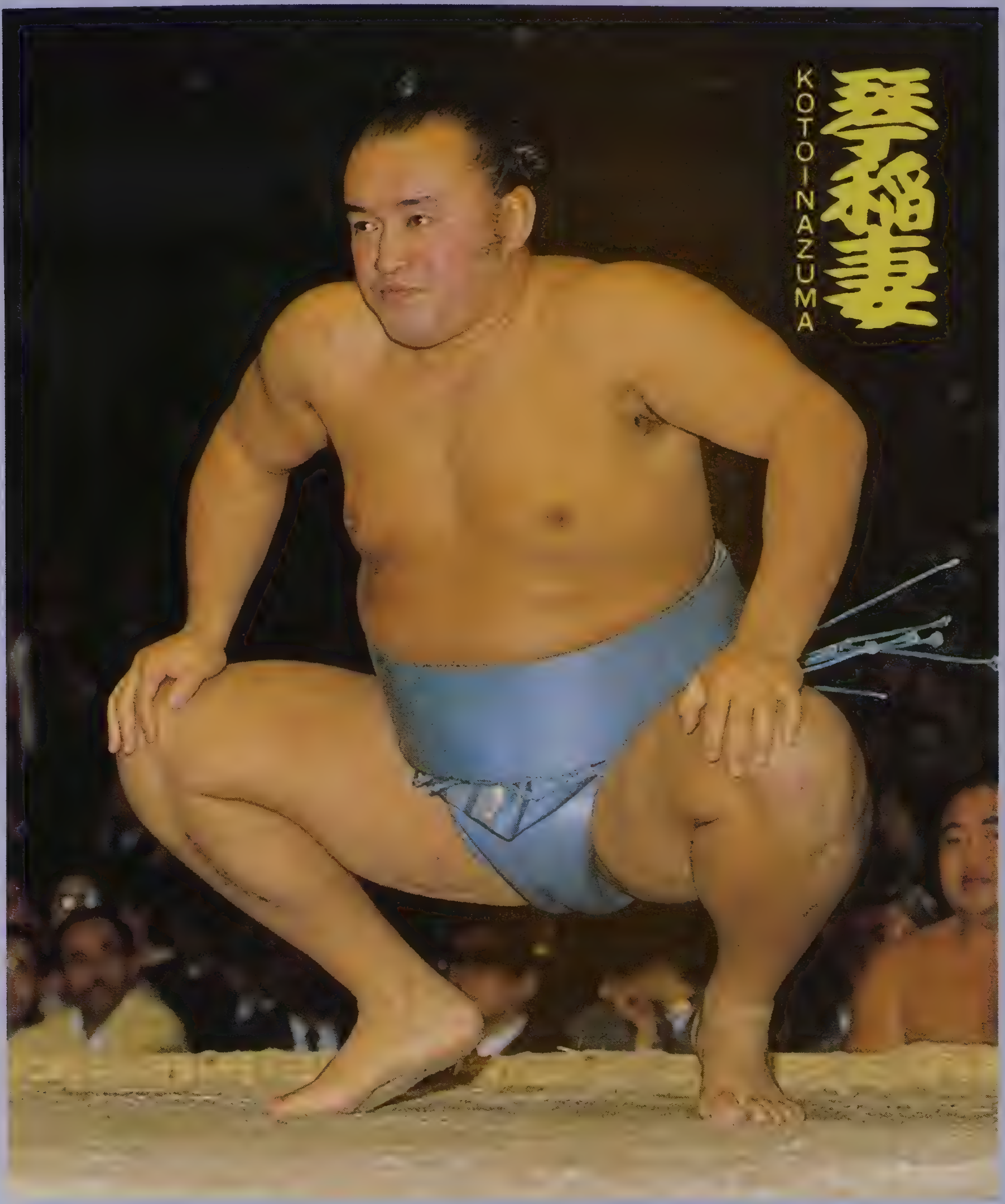
本名・後藤哲雄　33歳【春日野部屋】愛知県名古屋市
身長179㎝　体重158㎏　突き・押し
初土俵／56年3月　新十両／57年1月　421勝389敗
敢闘賞／1回　技能賞／1回
場所数／62　金星／3

西十両 1

本名・増田憲治　25歳【大島部屋】大阪府池田市
身長186㎝　体重135㎏　右四つ・寄り・上手投げ　284勝248敗
初土俵／56年3月　新十両／元年1月
場所数／62

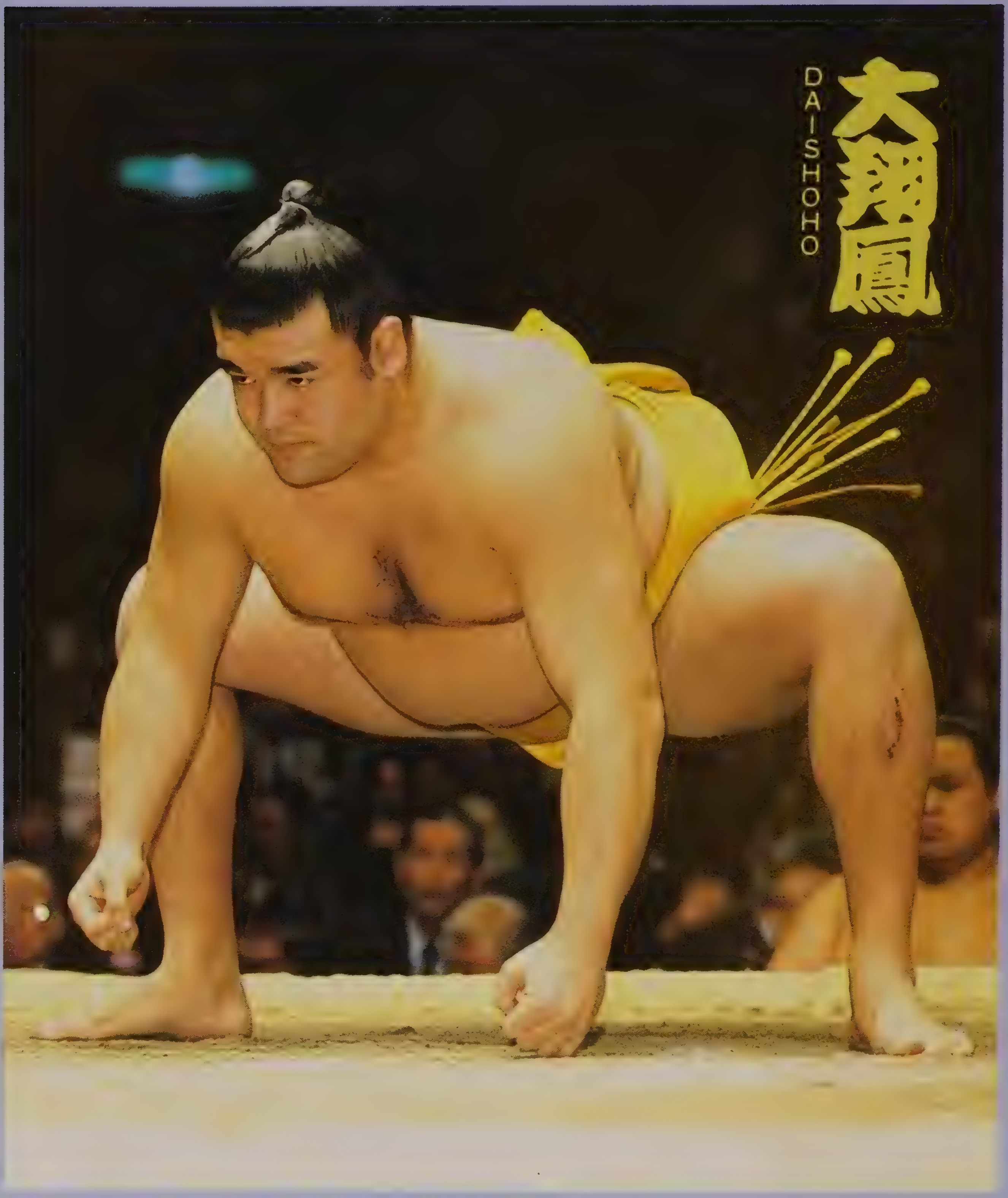
東十両 3

本名・田村昌浩　29 歳【佐渡ヶ嶽部屋】群馬県利根郡新治村
身長 180 cm　体重 134 kg　右四つ・寄り　410 勝 402 敗
初土俵／53 年 3 月　新十両／60 年 5 月
場所数／80



東十両 2

本名・村田昌巳　24 歳【立浪部屋】北海道札幌市
身長 188 cm　体重 143 kg　突つ張り　52 勝 20 敗
初土俵／2 年 1 月　新十両／3 年 1 月
場所数／9



西十両 3

本名・若松好弘　24 歳【大鵬部屋】埼玉県越谷市
身長 187 cm　体重 146 kg　左四つ・寄り・上手投げ　258 勝 232 敗
初土俵／57 年 3 月　新十両／63 年 9 月
場所数／56

西十両 2

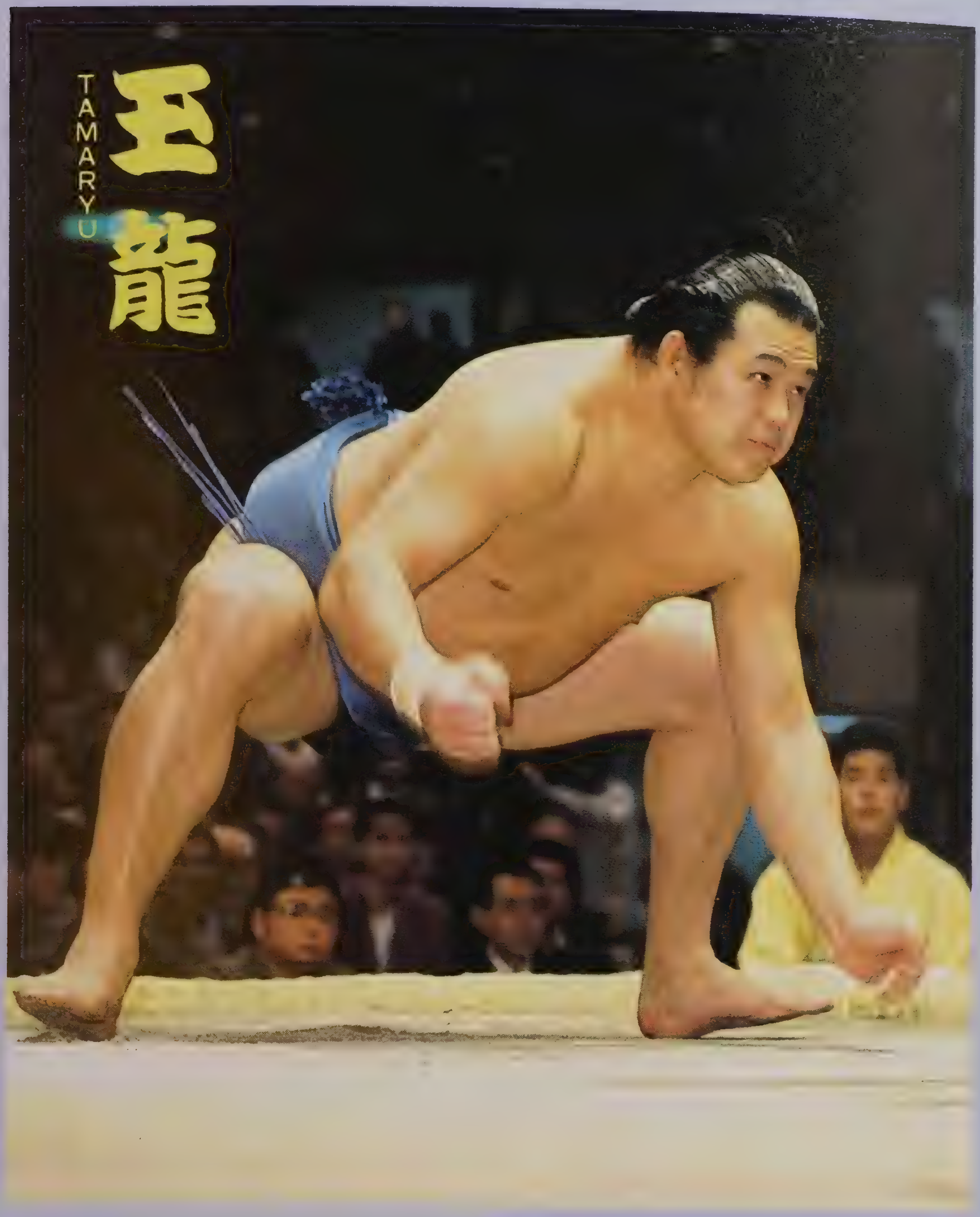
本名・木村泰山　22 歳【大島部屋】千葉県市川市
身長 180 cm　体重 175 kg　突き・押し　224 勝 190 敗
初土俵／59 年 3 月　新十両／63 年 11 月
場所数／44

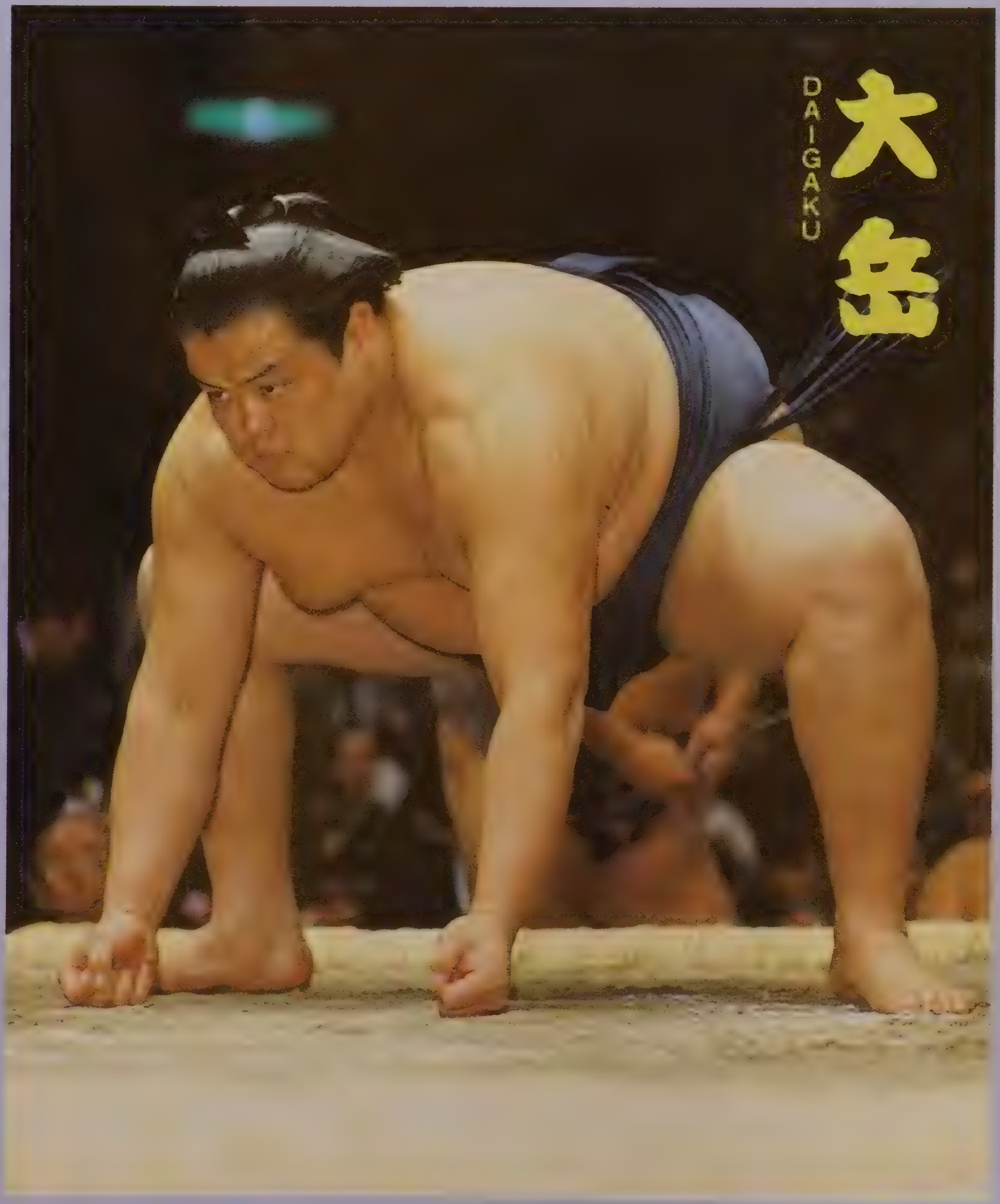
東十両 5

本名・高橋徳夫　26歳【二所ノ関部屋】大阪府大阪市
身長 189㎝　体重 147㎏　左四つ・寄り　238勝192敗
初土俵／56年3月　新十両／63年3月
場所数／62

東十両 4

本名・永田大蔵　36歳【片男波部屋】長崎県長崎市
身長 189㎝　体重 125㎏　右四つ・吊り　675勝679敗
初土俵／45年1月　新十両／54年5月
場所数／129　金星／1





西十両 5

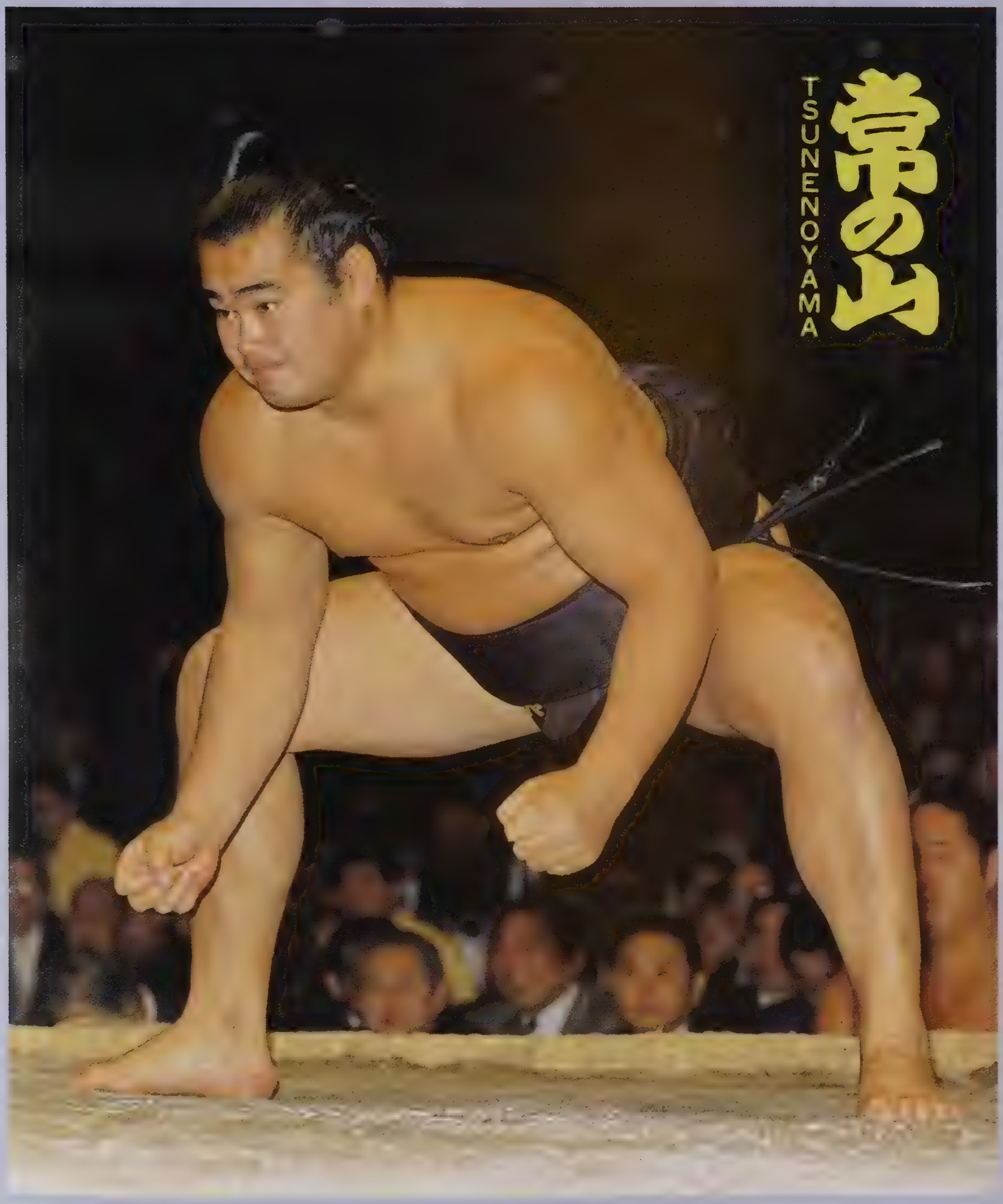
本名・横江英樹　26歳【時津風部屋】滋賀県草津市
身長 185㎝　体重 153㎏　左四つ・寄り　199勝153敗
初土俵／58年3月　新十両／3年1月
場所数／50

西十両 4

本名・内間良三　25歳【高田川部屋】神奈川県横浜市
身長 187㎝　体重 154㎏　右四つ・寄り　275勝238敗
初土俵／56年3月　新十両／63年3月
場所数／62

東十両 7
本名・浪岡貞博　19歳【藤島部屋】青森県三沢市
身長195cm　体重145kg　左四つ・寄り　103勝68敗
初土俵／62年3月　新十両／3年3月
場所数／26

東十両 6
本名・林　正人　23歳【武蔵川部屋】和歌山県御坊市
身長184cm　体重160kg　右四つ・寄り　47勝26敗
初土俵／2年3月　新十両／2年11月
場所数／8



西十両 7
本名・橋本重和　28歳【出羽海部屋】鹿児島県西之表市
身長180cm　体重119kg　右四つ・上手出投げ　276勝247敗
初土俵／55年7月　新十両／63年3月
場所数／66

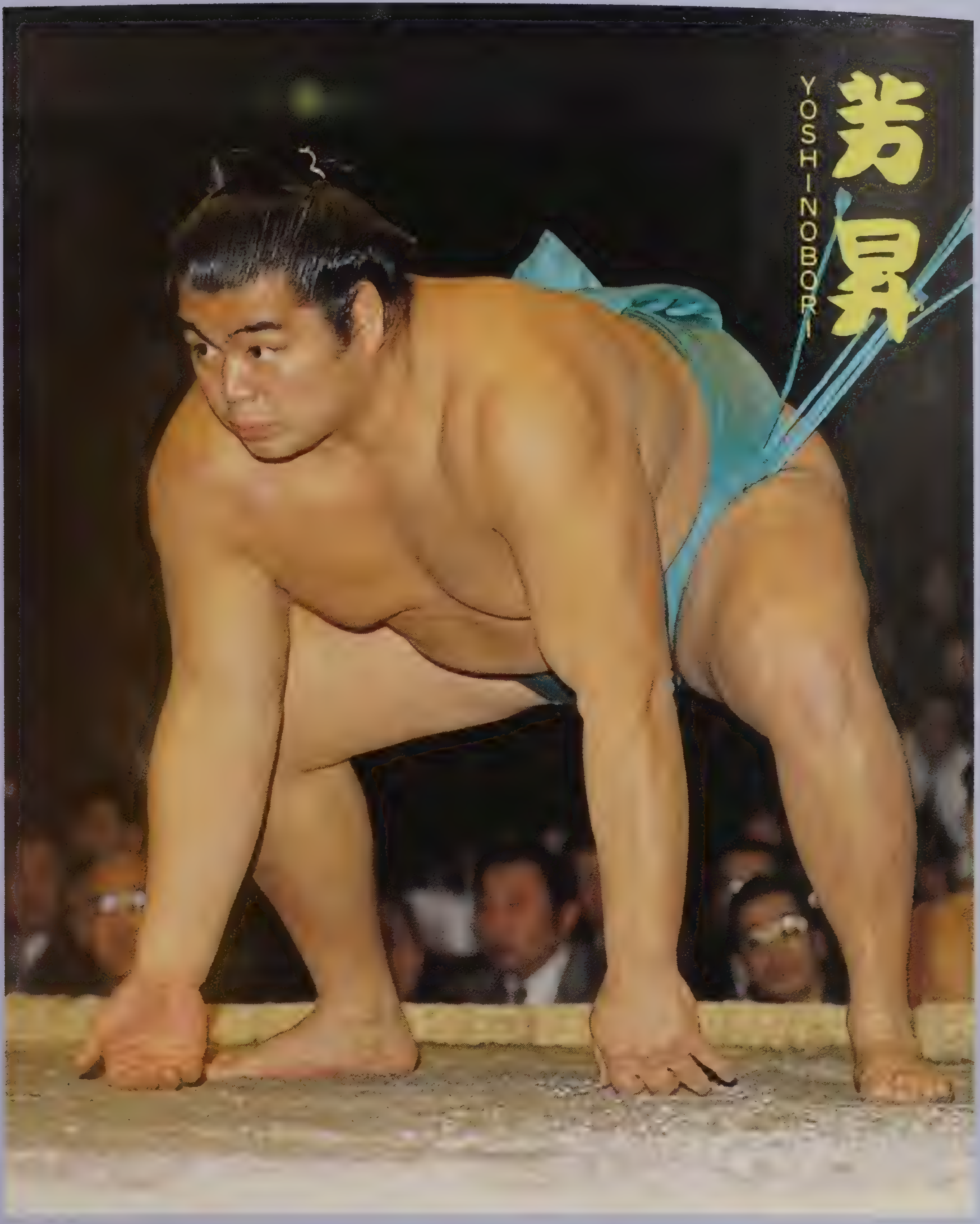
西十両 6
本名・長尾秀平　23歳【出羽海部屋】青森県西津軽郡鰺ケ沢町
身長174cm　体重91kg　左四つ・下手投げ　35勝15敗
初土俵／2年5月　新十両／3年3月
場所数／7

東十両 9

本名・黒谷　昇　33 歳【鏡山部屋】茨城県日立市
身長 178 cm　体重 142 kg　右四つ・寄り・投げ　561 勝 615 敗
初土俵／49 年 3 月　新十両／56 年 1 月
優勝／1 回　敢闘賞／1 回　技能賞／1 回
場所数／104　金星／1

東十両 8

本名・石原義幸　22 歳【熊ヶ谷部屋】福岡県福岡市
身長 178 cm　体重 121 kg　突き・押し　188 勝 140 敗
初土俵／59 年 3 月　新十両／2 年 7 月
場所数／44



西十両 9

本名・河辺幸夫　24 歳【片男波部屋】東京都渋谷区
身長 184 cm　体重 140 kg　右四つ突き　242 勝 208 敗
初土俵／57 年 3 月　新十両／元年 9 月
場所数／56

西十両 8

本名・吉崎克幸　33 歳【井筒部屋】鹿児島県指宿市
身長 183 cm　体重 151 kg　突き・押し　499 勝 469 敗
初土俵／51 年 1 月　新十両／59 年 7 月
場所数／93

東十両11

本名・馬場口洋一　25歳【二子山部屋】東京都中野区
身長180㎝　体重149kg　左四つ・寄り　225勝155敗
初土俵／56年5月　新十両／3年5月
場所数／61

東十両10

本名・石橋義光　21歳【立浪部屋】北海道斜里郡斜里町
身長192㎝　体重183kg　左四つ・寄り　150勝103敗
初土俵／60年3月　新十両／3年1月
場所数／38

西十両11

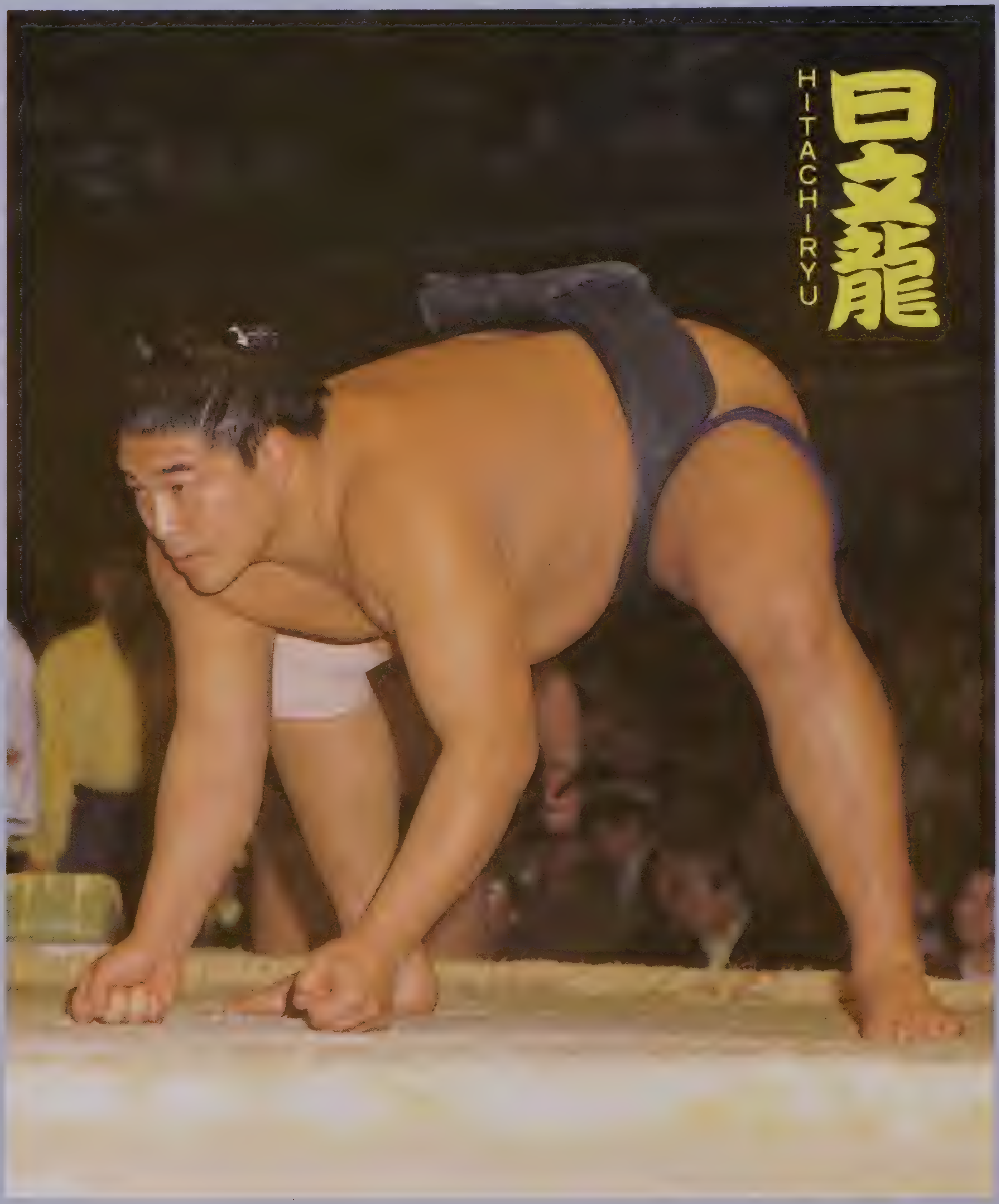
本名・佐藤洋之　25歳【高砂部屋】埼玉県熊谷市
身長176㎝　体重119kg　両差し・寄り　238勝216敗
初土俵／56年3月　新十両／2年3月
場所数／62

西十両10

本名・釜野俊也　29歳【佐渡ヶ嶽部屋】石川県小松市
身長183㎝　体重135kg　右四つ・下手投げ　332勝300敗
初土俵／52年5月　新十両／元年9月
場所数／85

東十両13

本名・脇坂栄一　21歳【押尾川部屋】茨城県日立市
身長180cm　体重120kg　右四つ・寄り　140勝105敗
初土俵／60年3月　新十両／3年5月
場所数／38

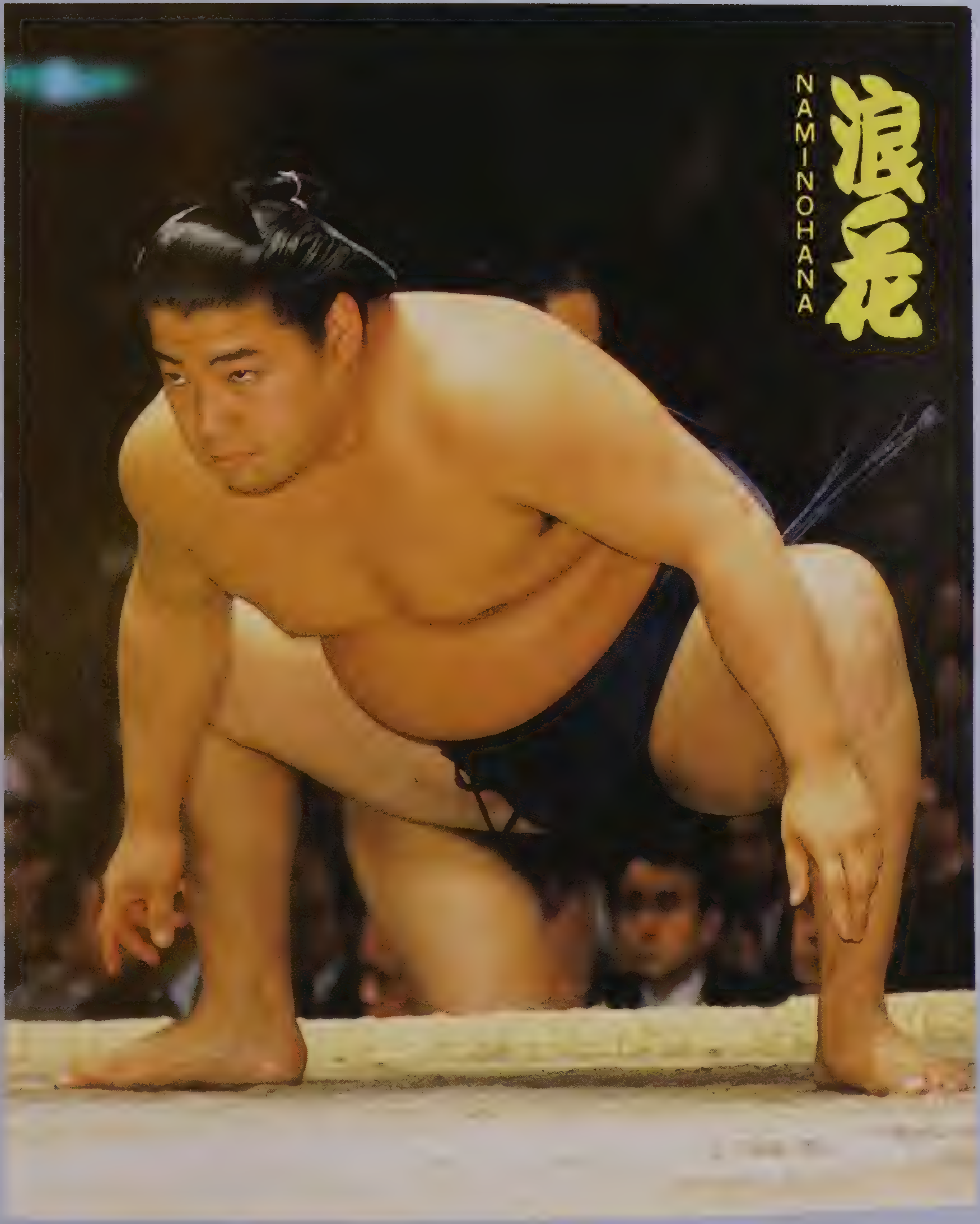


東十両12

本名・新木数人　25歳【放駒部屋】富山県富山市
身長182cm　体重144kg　左四つ・吊り・寄り　209勝161敗
初土俵／59年1月　新十両／63年11月
場所数／45

西十両13

本名・柴田広宣　27歳【時津風部屋】静岡県浜松市
身長186cm　体重146kg　左四つ・寄り　245勝218敗
初土俵／56年1月　新十両／2年9月
場所数／63



西十両12

本名・工藤和博　22歳【二子山部屋】青森県南津軽郡浪岡町
身長177.5cm　体重125kg　押し　175勝135敗
初土俵／59年5月　新十両／2年11月
場所数／43

夏場所の歴史

▲明治神宮外苑相撲場

1947年（昭和22年）

明治神宮外苑で晴天10日間の夏場所が行われた。この場所から同成績の場合、優勝決定戦の制度が定められた。いきなり羽黒山、前田山、東富士、力道山の四人による決定戦となり、羽黒山が優勝した。栃錦が新入幕。

1948年（昭和23年）

明治神宮外苑で晴天11日間の夏場所。番付上の生国名が府県別の名称となった。

▲浜町仮設国技館

1950年（昭和25年）

場所前に横綱審議委員会が設置される。初代委員長は酒井忠正。

1951年（昭和26年）

前場所優勝の照国より優勝額が復活。戦後初の掲額となった。場所後に千代ノ山が横綱に昇進。

1953年（昭和28年）

NHKの相撲中継が開始された。急激なテレビ普及と歩みをともにして相撲人気は盛り上がった。時津山が戦後初の平幕優勝（15戦全勝）。

1955年（昭和30年）

10日目の5月24日、天皇陛下初の国技館（蔵前）行幸。18年ぶりの天覧で、楽しげに観戦なされた。この場所は栃錦が5回目の優勝を飾ったが、千秋楽の栃錦、大内山戦の熱戦はいまでも語り草になっている。

1956年（昭和31年）

大関若ノ花（のち若乃花）が初優勝。

1957年（昭和32年）

新理事長に時津風（元横綱双葉山）就任。力士、年寄の給与改正、月給制度となる。

1958年（昭和33年）

国技館の2階は全部椅子席となる。東西2階席前手すりに自動電光勝負標示器が新設され、十両以上の取組、勝ち負けが標示されるようになった。十両では若手7人が11勝4敗の優勝決定戦。若秩父が優勝したが、のちに柏戸が横綱、北葉山が大関に昇進するなど有望力士ばかりの決定戦で、当時〝7人のサムライ〟といわれた。

▲蔵前国技館

1959年（昭和34年）
14勝1敗の決定戦で若乃花が栃錦に勝って6回目の優勝。この場所、大鵬が新十両。

1960年（昭和35年）
名人横綱栃錦が初日、2日目と連敗、引退した。若三杉が平幕優勝。

1962年（昭和37年）
夏場所前に若乃花が引退声明。〝土俵の鬼〟が土俵に別れを告げた。関脇栃ノ海が初優勝。

1967年（昭和42年）
関取の枚数削減が実施され、幕内は6人減って34人、十両は10人減って26人の定員となった。

1969年（昭和44年）
勝負判定についてVTRが参考資料として使用されるようになった。大鵬が30回優勝を記録。新弟子検査規定改正。満18歳までの者は身長170㌢、体重70㌔以上。18歳を超える者は173㌢、75㌔以上となった。

1971年（昭和46年）
横綱大鵬、5日目に新鋭貴ノ花に敗れ、翌日引退を表明。北の湖が17歳11ヵ月で史上最年少関取（当時）になり、話題を呼んだ。

1978年（昭和53年）
場所後の番付編成会議で若三杉（若乃花）が横綱に昇進。

1981年（昭和56年）
場所後、メキシコ公演。力士一行は熱狂的な歓迎を受ける。

1982年（昭和57年）
この場所より新弟子検査基準改正。年齢に関係なく173㌢以上75㌔以上とする。

1983年（昭和58年）
場所前の4月27日、相撲ゆかりの地両国で、新国技館の起工式が行われた。

1984年（昭和59年）
場所前の4月、新国技館上棟式が行われる。ハワイ出身の人気力士高見山が引退。

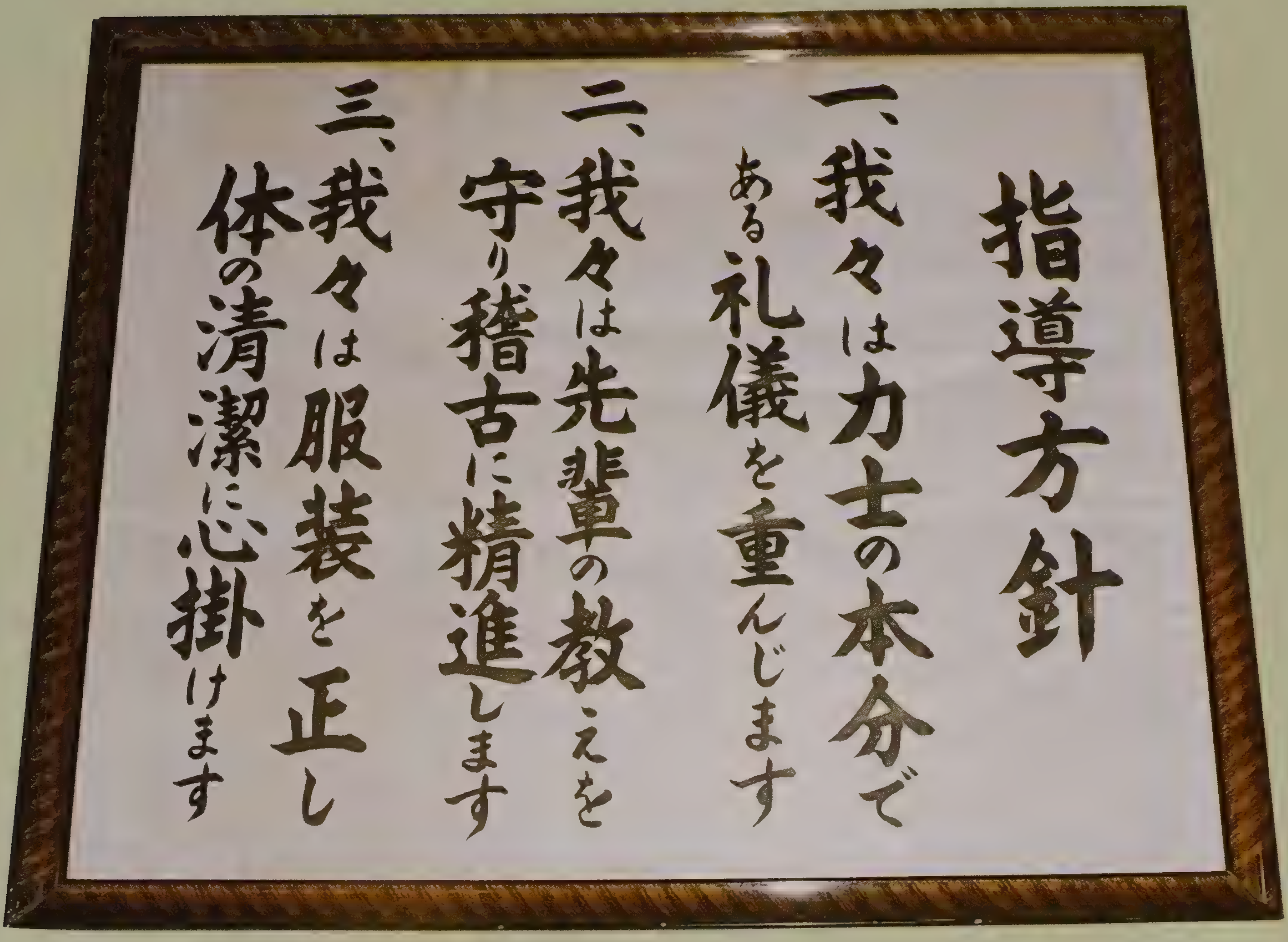
1985年（昭和60年）
場所前の5月7日、春日野理事長の還暦土俵入りが両国国技館で行われる。

1986年（昭和61年）
初日、英国のチャールズ皇太子とダイアナ妃がお揃いで御観戦。

1987年（昭和62年）
7日目。天覧相撲。昭和天皇最後の相撲観戦となられる。大関大乃国が15戦全勝で初優勝。

1990年（平成2年）
5月13日、初日に天皇、皇后両陛下お揃いで相撲を御観戦になられた。大関旭富士が優勝。

相撲教習所



相撲教習所は昭和32年10月に設置されました。新弟子検査に受かり、新しく相撲協会所属力士として登録された者を〝教育〟するために設置されたものです。

教習の目的は、新しく協会所属力士として登録された者に相撲の基本を習得させ、相撲部屋での稽古に耐えるだけの体力、気力を養い、更に相撲道の研究に打ち込んで行く気迫を持たせ、また一方で教養講座を行って一般常識を養うことにあります。

教習は、実技指導と教養講座に分けて行われています。実技指導には年寄、現役力士が指導員として当り、教養講座には、講師を依頼して行っています。教習期間は六ヶ月です。

『実技指導』

相撲が強くなるためにはしっかりした基本がなくてはなりません。相撲教習所での実技では基本を覚え、きびしい稽古に耐えるための体力をつけることを第一としています。

1　四股を踏む（下半身を鍛える）
2　鉄砲（上半身とくに腕を強くし、運び足を習得する）
3　ぶつかり（押しの基本及び怪我、負傷の防止）
4　土俵上の諸式（礼、ちりちょうず、上段の構え）

右のようなことを毎日積み重ねて健全なる体力と精神を養います。

『教養講座』

1　相撲史について＝力士として身を立てるからには、日本の相撲の歴史についてそのあらましを理解することは欠かせない条件であります。この講座では神話、伝説時代、武家相撲、近代相撲などに分け、その移り変わりと各時代の相撲の特色、土俵にまつわる伝承、力士の土俵上における所作と服装などについて、その民族的意味を説明します。

2　運動医学について＝運動障害を未然に防止するための対策や心得、つまり捻挫などの外傷を起こした場合の救急処置についての講義が行われます。

3　社会学（一般）について＝教習所生徒は力士としての名誉と誇りを常に保たなければなりません。また国技としての相撲をになう立場におかれています。常に言動に注意し、一般社会人としての常識、教養を身につけなければなりません。日本国憲法についての理解や、ときに変動する社会、国際情勢の認識を深める講義が行われます。

4　書道＝精神修養に重点がおかれています。

5　生理学について＝人間の体の働き、しくみについて、スポーツ生理学が講義されます。力士として大成するには、体に関する正しい知識と、運動にともなう働きの動的変化などについて、充分知る必要があるからです。

6　詩吟＝姿勢を正しく、気持を落ちつけて、腹の底から発声することで、精神修業に結びつくことが目的です。

実技指導は早朝から行われます。大山親方（元前頭大飛）立田山親方（元前頭天ノ山）尾上親方（元前頭飛騨乃花）錣山親方（元関脇益荒雄）と、各部屋から派遣された幕下力士が指導に当たっています。

教養講座の授業日は次の通りです。

月　生理学（小川新吉先生）
火　詩　吟（渡辺吟神先生）
水　書　道（明石春浦先生）
木　相撲史（竹内誠先生）
金　運動医学（津山正一先生）
土　社会学（松木重雄先生）

大学の教授が将来のある力士たちのために授業を受け持ってくれています。

相撲教習所は国技館内にあります。パンフレットの一番最後のページ、裏表紙の前に館内案内図が掲載されていますが、上段の二、三階観覧席図を見て下さい。右端の『向正面』と書かれたところにあり、別館の二階になっています。もちろん本場所中は授業はありません。本場所終了一週間後から、新番付発表の二、三日前ぐらいまでが授業時間です。六ヶ月の〝義務教育〟なので、ことし春場所に初土俵を踏んだ新弟子たちの卒業式は秋場所後になります。

昭和32年秋場所初土俵の新弟子が第1期生で、10月3日に開所式が行われました。秋場所以前に初土俵を踏んだ力士、たとえば横綱を例にとれば柏戸、大鵬、栃ノ海、佐田の山、北の富士は相撲教習所に通った経験はありません。ちなみに教習所卒業生の第1号横綱は玉の海（故人）でした。

三月の春場所には88人の新弟子が、将来の横綱を夢見てスタートしましたが、この新弟子たちは教習所の２０１期生になります。

ここで歴代の所長を紹介しましょう。

『歴代所長』

春日野（元横綱栃木山）
立　浪（元横綱羽黒山）
二所ノ関（元大関佐賀ノ花）
立　浪（元関脇羽黒山）
出羽海（元横綱佐田の山）
立　浪（元関脇羽黒山）
伊勢ヶ浜（元大関清國）
春日山（元前頭大昇）
高　砂（元横綱朝潮）
時津風（元大関豊山）
高　砂（元小結富士錦）

以上です。

けいこ場は土俵が三面あります。多いときには130人位になり、広いけいこ場もいっぱいになります。初土俵の違いでグループをつくり、基本動作を繰り返します。

けいこ場の上り座敷には『錬磨』と書かれた大きな額が掲げられています。

授業をする教室には歴代所長と、教授の写真が飾られています。また二子山理事長をはじめ全親方の顔写真も貼られています。新弟子たちは他の部屋の親方を、この顔写真で知ります。

▲二子山理事長の祝辞

教室の入口のすぐ上には『校歌』ともいえる『日本相撲協会練成歌』の歌詞が貼り出されています。作詞は呼出しの永男（のりお）です。作曲は甲斐晴文先生です。

一、盤石（いわお）の如き胸いたに
鋼鉄（はがね）の腕（かいな）火花散る
攻めと守りの十五尺
鍛える我等　鍛える我等
相撲道

二、はだも凍てつく寒稽古
夏にはまわしに玉の汗
初心の大志ひとすじに
生きるは我等　生きるは我等
相撲道

三、国技の伝統守りつつ
新たな技量みがきつつ
土俵に飾る晴れ姿
輝く我等　輝く我等
相撲道

教習所の一日は朝6時半過ぎから始まります。国技館から遠い部屋の力士は午前5時に起床しなければなりません。歯を食いしばって頑張るのも、強くなって故郷に錦を飾り、家族の喜ぶ顔を見たいからです。

午前10時過ぎまでみっちりけいこが続きます。四股を何回も踏むのは単調ですが、しっかりした足腰をつくるにはどうしても必要なことです。ローマは一日にして成らず。力士もすぐには強くなりません。幕下の兄弟子の胸を借りてのぶつかりげいこ。お腹も背中も、

▲記念撮影

そして顔も汗でべったり砂がついて真っ黒です。出足をつけ、受け身を覚えて怪我を防ぎます。

礼に始まり礼に終る、のが相撲です。きちんとした礼ができるように指導しています。『礼がちゃんとできる力士は強くなる』と教習所の親方は言っています。

厳しいけいこが終ると、休む間もなく、教養を身につけるための授業が始まります。けいこでついた砂をバスタオルなどで落としたあと机に向かいます。ゆかた姿での授業はおそらく相撲教習所だけでしょう。大学相撲部出身者は、その実績を認めて実技のけいこは免除ですが、授業には出席しなければなりません。

早朝からのけいこで眠たい眼をこすりながら先生たちの話を聞いていた力士たちが解放されるのは正午近くです。順番でけいこ場に隣設の風呂場で体を洗ったあと、国技館内地下食堂でやっと食事です。力士は一日2回の食事で、けいこが終った後が最初の食事です。けいこでお腹をすかしたあとの食事は若い力士たちにとって一日で一番楽しいときです。5杯、6杯の御飯をお代りするのも珍しくありません。

食事を終えたあと、きちんと服装を整えてそれぞれの部屋に帰ります。きびしい修業はこうして毎日繰り返され、実力をつけていくのです。

▲卒業証書授与

相撲教習所規則

（昭和三十二年九月十二日施行）

第一条　財団法人日本相撲協会に相撲教習所を設ける。

第二条　相撲教習所には、所長一名、委員、指導員若干名を置く。必要に応じ主任をおくことができる。
所長には、理事が当る。指導員は年寄および現役力士より所長が任命する。

第三条　この教習所は、日本相撲協会に新たに登録された力士を、実技と教養に分けて教育し、指導することを目的とする。

第四条　実技の指導には、指導員が当り、教養講座は、適当な講師を依頼して行う。

第五条　教育期間は六ヵ月とし、本場所に出場することは実習と認める。

第六条　実技、および教養講座とも、定められた単位を六ヵ月間に習得したときは、本教習所を卒業した者と認める。

第七条　教養講座は、当分左の通りとする。
相撲史（道義を含む）、運動医学、生理学、国語（書道作文を含む）、社会学（一般）、詩吟。

第八条　教習所生以外の力士、および行司その他日本相撲協会関係者にして、聴講を希望する者は、申入があれば認める。

第九条　教習所生にして、日本相撲協会の力士として、認められない行為があったときは、師匠に勧告して除名することができる。

相撲案内所

館内		
11号案内所	↑	10号案内所
12号案内所		9 号案内所
13号案内所		8 号案内所
14号案内所	通	7 号案内所
15号案内所		6 号案内所
16号案内所		5 号案内所
17号案内所	路	4 号案内所
18号案内所		3 号案内所
19号案内所		2 号案内所
20号案内所	↓	1 号案内所

当日御入場の際、御席での料理、飲食、みやげ物については各案内所で承っておりますので申しつけ下さい。なお、御招待等の場合は、電話での御予約も致しますので、御予算の範囲内で、御接待申し上げます。

※また、館内には、食堂、売店もございますので御利用下さい。

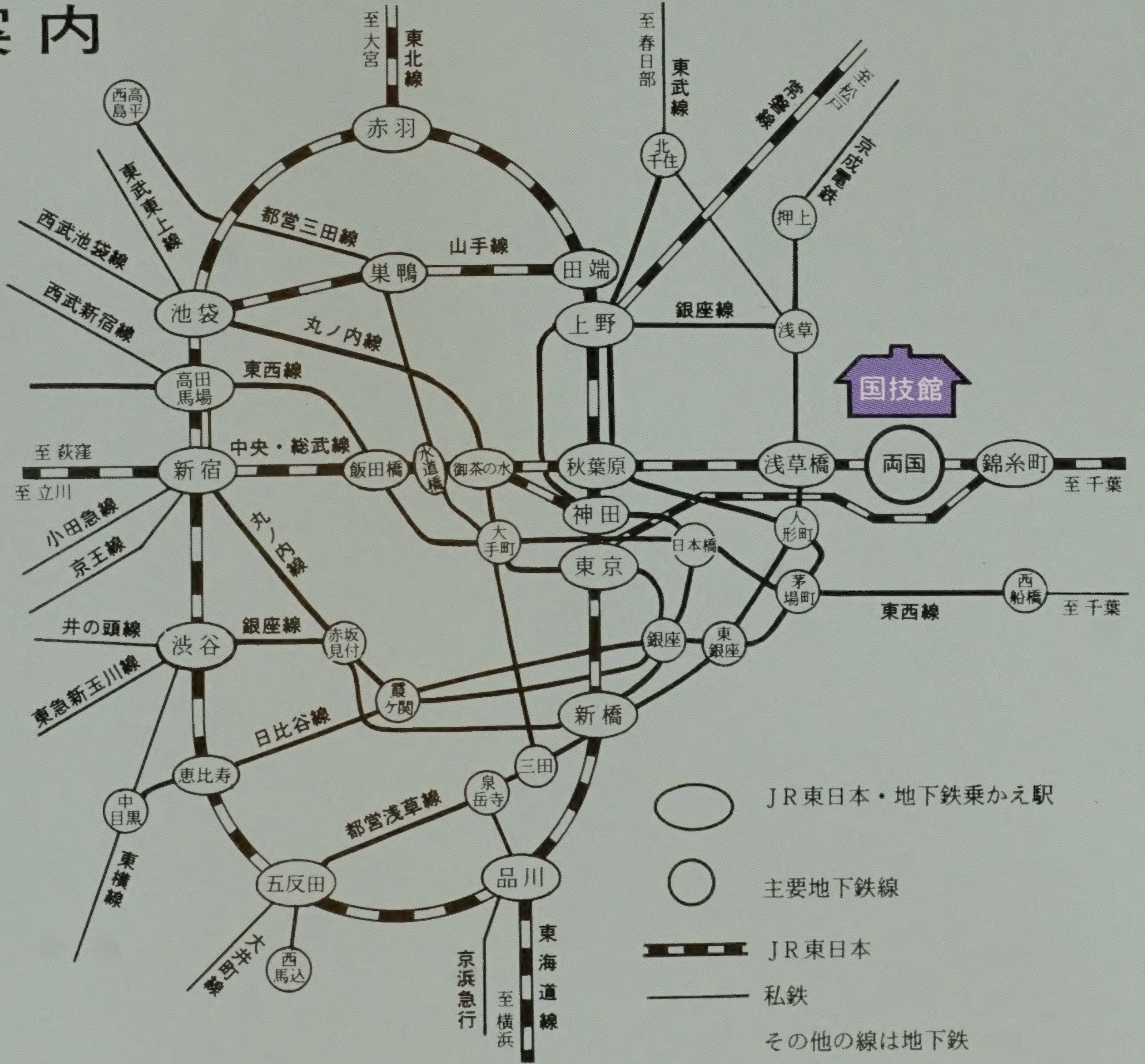
※お忘れ物、遺失物がありましたら、お席番号を確かめて相撲協会事務所または各案内所へお申し出下さい。

相撲ご観覧についてお気づきの点がございましたら

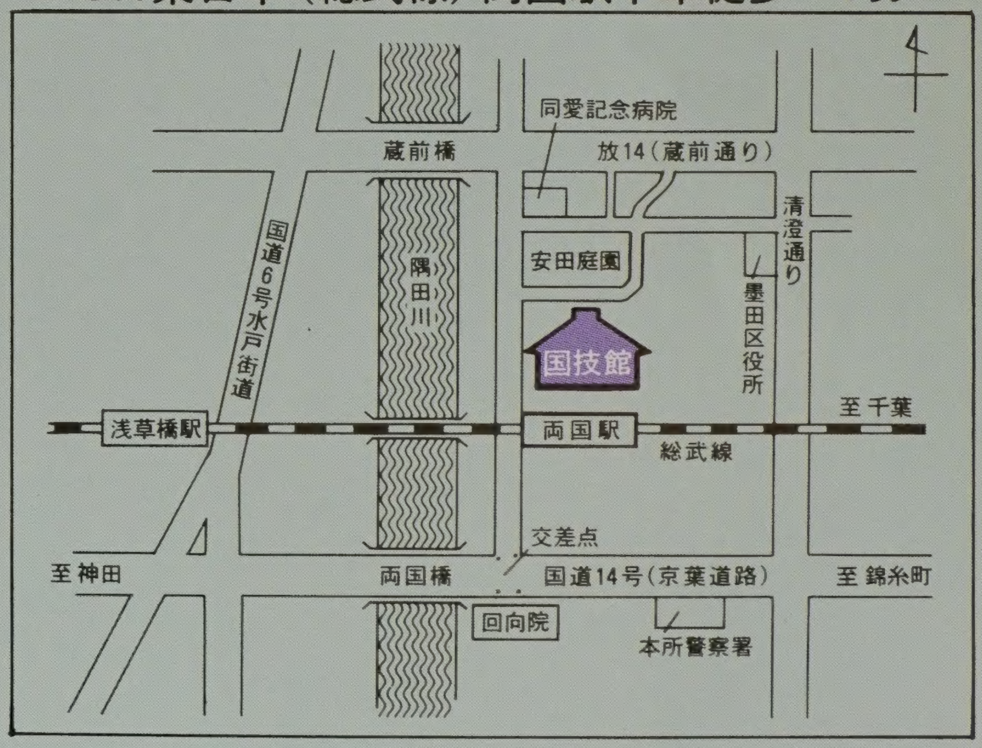
国技館サービス(株)まで御申し出願います。

電話 03 (3625) 2111

交通ご案内



● JR東日本（総武線）両国駅下車徒歩…1分



発　行　平成3年5月12日
発行所　東京都墨田区横網1丁目3番28号
発行者　日本相撲協会
監　修　時津風勝男
印刷所　精工印刷株式会社
＊本誌掲載の記事・写真等の無断転載を禁じます。
定　価　450円

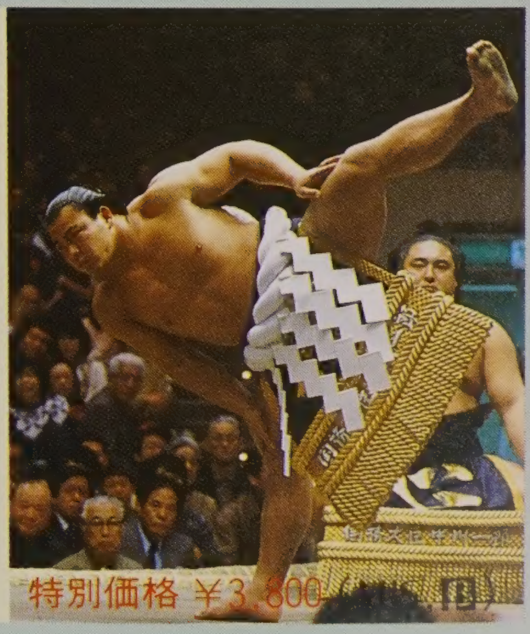
大相撲ビデオシリーズ第一弾

お申込み問合せ　大相撲ビデオ事務局
03-5884-0993
制作著作／財団法人日本相撲協会

華麗なる土俵の狩人
ウルフ千代の富士

小さな大横綱千代の富士の全ぼうを初公開！

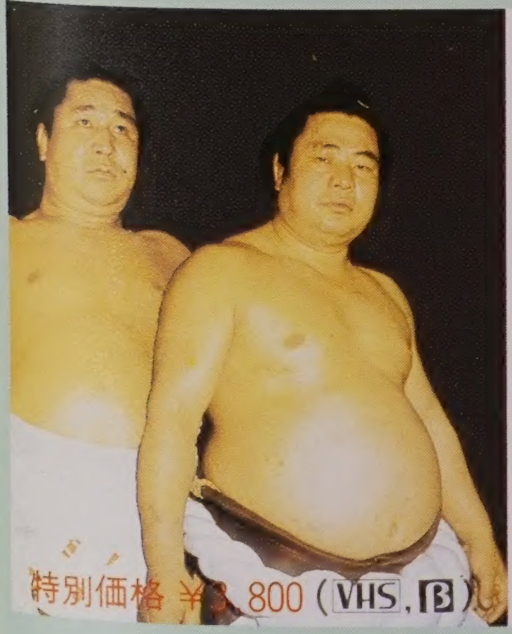
未だ公開されていない幼年期から、幾度もの故障を克服し大横綱として君臨する千代の富士の相撲人生を初めて描いた貴重な記録。全35番収録。



大相撲
栃若物語

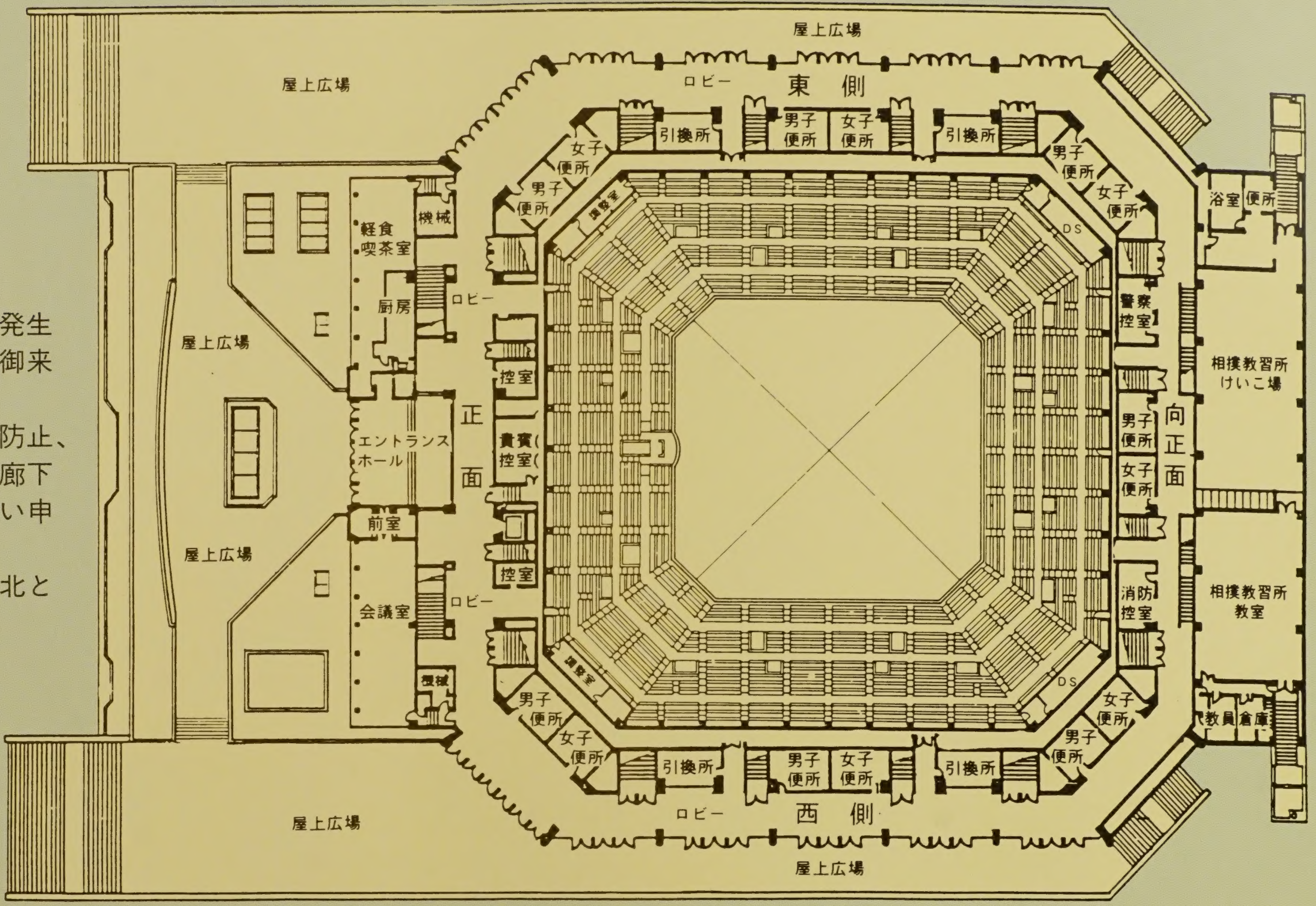
小よく大を制す！あの土俵の熱狂を色鮮やかに再現!!

栃若の名勝負2番と横綱土俵入りを、日本で初めてカラー化に成功。徐々に紅潮する肌の色合が、両雄の対戦の激しさをそのまま再現。全30番収録。



館内案内図

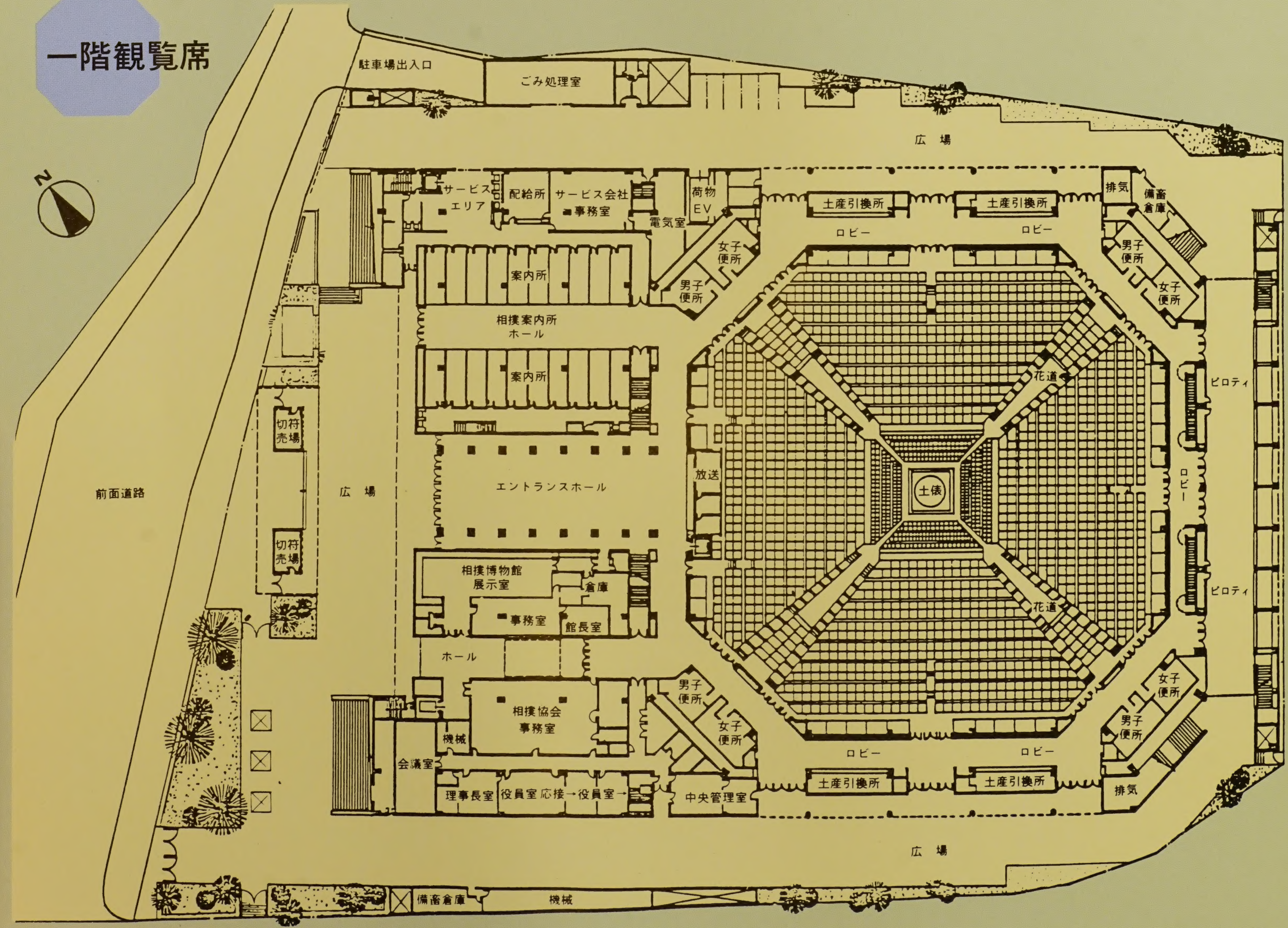
二階・三階観覧席



おねがい

- ⦿交通混雑と自動車による公害の発生を抑制するため、マイカーでの御来場はご遠慮下さい。
- ⦿おたばこは火災予防その他危険防止、公衆衛生のため必ず喫煙所又は廊下の灰皿をご利用下さるようお願い申し上げます。
- ⦿殿方・ご婦人用お手洗は東西南北と二階四隅にございます。
- ⦿非常口は両側にございます。

一階観覧席



17代 木村庄之助 使用の軍配

この軍配は、庄之助が庄三郎時代に万歳会
より贈られたもので、大正10年引退するまで
ながく愛用していた。

1991.5.

財団法人 日本相撲協会